

トップアスリートに対する採血によるドーピング検査の開始

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）は、ロンドンオリンピックを機に国際的に要請が高まっている採血によるドーピング検査を開始いたしました。対象者は、ロンドンオリンピックに出場する日本代表選手を含む日本オリンピック委員会強化指定選手、JADA 登録検査対象競技者、日本代表選手などのトップアスリートです。

近年、ドーピング検査においては、尿検体のみならず、血液検体を対象として分析を行うことが国際的に求められています。このため、当機構では、これまで文部科学省をはじめ関係者と検討を重ねて、今般、国際的な要請に基づく採血によるドーピング検査を実施することといたしました。

採取された血液検体は、世界アンチ・ドーピング機構公認分析機関である三菱化学メディエンス株式会社アンチ・ドーピングラボラトリーにおいて分析されます。

今後もドーピング防止活動を積極的に展開し、我が国の競技者がクリーンであることを積極的にアピールしていきます。

本件情報に関するお問い合わせは、以下の担当者までお願いいたします。

2012年7月20日

(公財) 日本アンチ・ドーピング機構
事務局長 浅川 伸

電話：03-5963-8030